市政レポート
彦坂 和子
渡邊 智史
日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。
シャットル
［発行］日本共産党一宮市委員会　JCP一宮
2023年6月
No. 862
発行：日本共産党 一宮市委員会
TEL 45-5424 Fax 45-5347
一宮市八幡2-13-30

2023 年度（令和 5 年度）6 月補正予算（案）

■予算規模

・**一般会計**	補正額 17 億 0,236 万 2 千円	計 1,294 億 1,542 万 1 千円
・**企業会計**	502 万 2 千円	544 億 7,899 万 7 千円
計	**17 億 0,739 万 1 千円**	**2,578 億 2,412 万 7 千円**

＊**企業会計**　病院・水道　各事業

■計上された主な事業・予算（市の資料より一部紹介）

【創】：新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金
【国】【県】：国・県の補助金等
（改）：事業内容・制度等の改正　**（臨）**：臨時的な事業

○（改）入院医療費の無償化を 18 歳まで拡大 1,577 万 9 千円
2023 年 10 月から子ども医療費の助成対象を拡大し、16 歳から 18 歳までの入院医療費を追加する。

○（臨）BISHU FES.支援事業費の増額　1,000 万円
ファッションショー等のメインイベントを夕刻からの開催に変更したことにより、来場者の安全確保と効果的な空間演出のため、照明設備や警備体制を強化する。

★新型コロナウィルス感染症対策関連事業

○（臨）物価高騰に対する低所得世帯への支援【創】14 億 9,291 万 4 千円
物価高騰の影響が大きい低所得世帯を支援するため、住民税非課税世帯等に 1 世帯あたり 3 万円を給付する。

○（臨）宅配ボックスの設置に対する補助【創】　1,500 万円
宅配便受取時の接触機会の低減及び再配達抑制による環境負荷低減のため、宅配ボックスに購入及び設置に係る費用を補助する。

○（臨）給食食材等の高騰に対する支援

・保育園等　【創】【県】　8,683 万 2 千円
保護者の負担軽減を図るため、給食食材等の高騰による購入費の増額及び購入費に対する補助を行う。

・小中学校　【創】　4,595 万 6 千円
給食費の値上げに対し、保護者の負担軽減を図るため実施している学校給食会への補助について、1 学期に引き続き 2 学期も保護者負担額を据え置くため補助額を増額する。

○（臨）小中学校等への内線電話の導入【創】
・公立保育園　6,644 万円
設置場所：遊戯室、保育室、事務室
・小中学校　1 億 5,226 万 5 千円
設置場所：普通教室、保健室、職員室

○（臨）新型コロナウィルスワクチン接種支援事業【国】6,000 万円
ワクチンの個別接種を促進するため、一定回数以上の接種を行った診療所に対して、接種回数に応じて交付金を支給する。

○（臨）省エネ家電製品の買替に対する補助【創】1 億 913 万 1 千円
エネルギー消費性能の優れたエアコン、冷蔵庫、冷凍庫を 6 月 1 日に市内店舗で買い替えた際に、その費用の一部を補助する。

○（臨）ごみボックスの設置に対する補助【創】1,630 万 5 千円
ごみ集積場所のごみの飛散・散乱防止のため、ごみボックスを設置した町内会に対して補助する。

○（臨）肥料価格高騰対策支援事業　【創】　602 万円
化学肥料の使用量低減に取り組む農業者を対象に、肥料価格の高騰分に相当する額の一部を支援する。

○（臨）キャッシュレス決済ポイント還元　3 億 8,443 万 7 千円
消費喚起及び非接触での決済を推進するため、2023 年 11 月の 1 か月間、キャッシュレス決済時（4 種類）に 10%のポイントを還元する。

○商工団体等事業補助金　補助率の上乗せ【創】500 万円
商工団体等が実施する共同事業に対し、新型コロナウィルス感染症の影響を踏まえた上乗せ補助を行う。

裏面に続きます⇒

○（臨）路線バスを利用する高齢者に対する支援【創】160 万円

路線バスの維持・確保のため、名鉄バスの高齢者向け定期券（シルバーパス 65・ゴールドパス 70）の購入に際し、市が購入費を負担する。

○（臨）水道基本料金無料化事業【創】2 億 4,152 万 2 千円

市民や事業者の負担軽減対策として、2 か月分（9 月検針分、10 月検針分）の水道の基本料金を無料にする。

＊新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金について

政府は 2022 年度予算の予備費から交付金 7000 億円を増額。「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」でエネルギー・食料品価格等の影響を受けた生活者や事業者に対して、支援を行う事業です

一宮への交付限度額は 9 億 4370 万 4 千円。

■6 月議会に提案されている議案(一部紹介)

◇議案第 43 号　行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について

・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第 9 条第 2 項の規定による独自事務を追加するため（追加する事務：一宮市子ども医療費の助成に関する事務等 5 事務）

◇議案第 44 号　一宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

・電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、新たにスマートフォンに搭載される利用者証明用電子証明書を利用して印鑑登録証明書の交付の申請ができるようにするため（現行：個人番号カードに搭載される利用者証明用電子証明書を利用）

◇議案第 30 号　一宮市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

・入院に係る助成について、受給資格者を出生の日から 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までのものに拡大するため（現行の受給資格者：出生の日から 15 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの者）

マイナポイント支援窓口によるポイントの誤登録について

（一部紹介）　市民健康部市民課　　―議員へのお知らせより―

本市が設置をしているマイナポイント支援窓口において、パソコンの誤操作によるポイントの誤登録がこれまでに 3 件ありましたので報告します。

1，内容　【決済サービスの誤登録】　本庁舎、尾西庁舎、木曽川庁舎のマイナポイント支援窓口において、マイナポイントのシステムからポイント付与先のキャッシュレス決済サービスを登録する際に、誤って別の方の情報を登録した。
内訳は本庁舎（2022 年 8 月）、尾西庁舎（2022 年 8 月）、木曽川庁舎（2023 年 1 月）各 1 件の計 3 件。

2，原因　3 件とも、マイナポイント支援窓口において、ポイント付与のためのキャッシュレス決済の登録手続きをしていた方が途中で取り止めて退席する際、マイナポイントの申請画面のログアウトを行わず、次の方が手続きを開始し、誤って登録されたもの。

3，発生後の対応　別人の情報が登録されていた本人に謝罪し、委託業者が本来のポイント分を補填した。

4，再発防止策　本事案を共有し、再度手順厳守の徹底を行う。など

＊市民から、マイナンバーカードのコンビニでの住民票誤交付、「マイナ保険証」の別人の情報登録、公金受取口座とのひも付けでも誤登録など、個人情報漏えいのトラブルが続き不安が広がっています。

マイナンバー法等改定案　審議中止し、事態の解明を

5/25 日本共産党志位和夫委員長が記者会見

志位委員長は、健康保険証を廃止して、マイナンバーカードへの一本化を強要する

「マイナンバー法等改定案」をめぐり「マイナ保険証」に別人の医療情報がひも付けられていた問題に言及し、「制度の根幹を揺るがすような非常に重大な問題が明らかになっている。この問題を未解明のまま法案だけ通すということはあってはならない。法案審議を中止し、事態の解明を最優先で行うべきだ」と主張しました。――　「全国の開業医の 6 割が参加している全国保険医団体連合会が法案の強行はやめるべきだと求めている。これに耳を傾けるべきだ。」と強調しました。

【お詫びと訂正】前号 No.861 の誤りについてお詫び申し上げるとともに訂正いたします。　監査委員・服部修寛議員の所属会派　令和会⇒一宮市維新と市民の会　/　則竹保郎⇒則竹安郎（2 か所）